

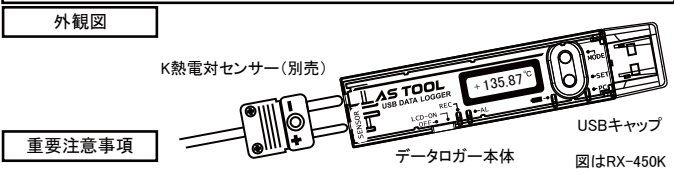
取扱説明書 Instruction Manual

熱電対データロガー RX-450K/RX-450T

簡易版(正式版は下記URLよりダウンロードいただけます。)

この度は本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
また、お読み頂きました後も大切に保管してください。

コントロールのためのソフトウェアは下記にて無償ダウンロードが可能です。
また、製品のドライバや取扱説明書、Q&Aの提供もしております。
RX-450KとRX-450Tは使用する熱電対と測定範囲が異なるのみで使用方法は同じです。
詳細は下記の弊社WEB AXELをご覧ください。【品番 2-7963-03 4-1721-01】で検索
<https://axel.as-1.co.jp/>



重要注意事項

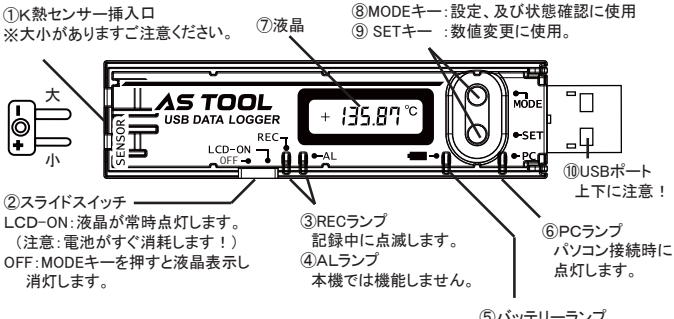
本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込みは考慮されておりません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

- 注意** 取扱いを誤ると、人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
- 本機は精密電子製品です。強い衝撃を与えたり、過酷な環境に設置したりしないでください。
- 温度センサーは化学薬品の影響を受けます。蒸散、浮遊薬品にご注意ください。
- 本機は防水構造ではありません。直接雨、雪がかからない場所で使用してください。またぬれた手のまま使用しないでください。
- 結露の起こる場所、急激な温度変化のあるところ、油煙や湯気の直接当たる場所、直射日光の当たる場所、仕様外温度となるところ(本機の設置環境は+5~40℃です)では使用しないでください。
- 電池交換以外で製品を分解・改造を行わないでください。また指定型番の電池を使用してください。
- 煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに、周りに燃え移らない場所へ移動させ、安全を確認した後、電池を本体から抜き、修理をご依頼ください。

【重要】パソコンとの接続について

- 本機の取り扱いには少なからずパソコンの知識が必要となります。RS-232C、COMポート、Zip、administrator権限などの用語については詳しい方にお問合せください。Yahoo! Googleなどで検索すると詳細解説のページが見つかります。
- パソコンにソフトウェアをインストールするときには管理者権限(administrator権限)が必要です。社内のシステム管理部門にご相談ください。また、パソコンによっては本機を認識できない場合があります。この場合はパソコンを変えて試してみてくださいませようお願いいたします。
- 本機はCOMポート経由でデータの送受信を行います。モデム、UPS(無停電電源)、他のRS-232C変換ケーブルなど、COMポートを使用する機器と競合する不具合が起こります。(トラブルシューティング参照)
- アプリケーションソフトはZIP形式で圧縮されています。解凍ソフトはお客様でご用意ください。「窓の杜」<http://www.forest.impress.co.jp/lib/arc/>などでフリーソフトが入手可能です。
- ソフトウェアのインストールで生じたパソコンのトラブル(データ損失、ハード被害)に関しまして、弊社では一切の補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 多くのUSB機器を接続すると電力不足で誤動作が起こる場合がありますのでご注意ください。
- 弊社ではパソコンの取り扱い、データのグラフ化などの問合せには対応できません。
- 本機の制御に使用できるパソコンの仕様と環境は下記項目が基準となります。
 - ①Windows Vista/7/8/8.1/10 (32bit/64bit)がストレスなく動くこと。
 - ②USBポートを持つもの(※BIOS上でRS-232Cを認識できること)
 - ③administrator権限を持ち、ソフトウェアのダウンロード、インストールができること。
 - ④インターネットに接続されていること(ソフトウェアダウンロード時のみ)
 - ⑤ZIP形式の圧縮ファイルが解凍できること。
- 本機の形状はUSBメモリスティックの様ですが、通信方式はRS-232Cです。パソコン側からはUSB機器ではなくCOMポート(通信ポート)として認識されます。マイコンピュータ内に「外部ドライブ」や「USBメモリ」として表示はされません。

製品概要



① K熱センサー挿入口 ※大小がありますご注意ください。

② スライドスイッチ LCD-ON:液晶が常時点灯します。(注意:電池がすぐ消耗します!) OFF:MODEキーを押すと液晶表示し消灯します。

③ RECランプ 記録中に点滅します。

④ ALランプ 本機では機能しません。

⑤ バッテリーランプ 電池消費時に3秒間隔で点滅お知らせし、データログを終了します。

⑥ PCランプ パソコン接続時に点灯します。

⑦ 液晶

⑧ MODEキー:設定、及び状態確認に使用

⑨ SETキー:数値変更时使用。

⑩ USBポート 上下に注意!

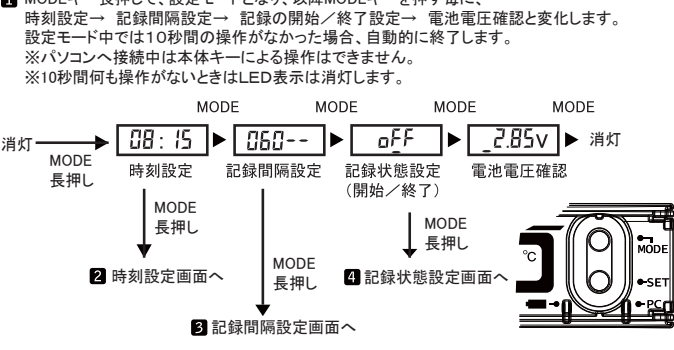
製品の仕様

品名/形式	K熱電対データロガー/RX-450K (CODE:2-7963-03) T熱電対データロガー/RX-450T (CODE:4-1721-01)
測定範囲	K: -200~999.9℃、T: -200~300.0℃ (本体動作温度10~40℃)
サイズ	95.0×21.0×10.4(mm) ※突起部含まず
重量	約21g(電池、温度センサー含まず)
電源	ボタン電池(CR1220) / USBポートからの供給
記録容量	15000ポイント
温度センサー	K、T熱電対(オメガ社ミニプラグSMP-K-Mタイプ)
測定間隔	5秒~59秒、1分~240分
測定精度	±0.8℃(25℃にて、熱電対の誤差は含まず)

※電池寿命(参考値です) Made In Japan
1年(1時間間隔で測定、スライドスイッチOFF) 7日(10秒間隔、スライドスイッチOFF)
45日(1分間隔で測定、スライドスイッチOFF) 7日(測定なし、スライドスイッチON)

各種設定(本体のキーを使った設定)

※これらの設定はアプリケーションソフトを使っても同じことができます。



- 時刻設定** ここでMODEキーを長押しすると、現在時刻を設定できます。設定動作では、SETを押す毎に値が可変します。MODEキーを押す毎に西暦→月→日→時→分と設定項目が変化します。(右図参照)
- 記録間隔設定** ここでMODEキーを長押しすると、記録間隔(インターバル)を設定できます。SETキーを押す毎に設定値が可変します。左側3桁が「分」、右側2桁が「秒」を表します。
- 記録状態設定** ここで[SETキー]※を長押しすると、記録開始/終了が設定できます。※誤使用防止のためMODEキーではなく[SETキー]の長押しです。
- 電池電圧確認** 電池の電圧が表示されます。電圧表示は目安です。長期ログの前には電池交換を行ってください。※2.7V以下になるとログ記録の操作ができなくなります。

パソコンに本機を認識させる(デバイスドライバとCOMポートの設定)

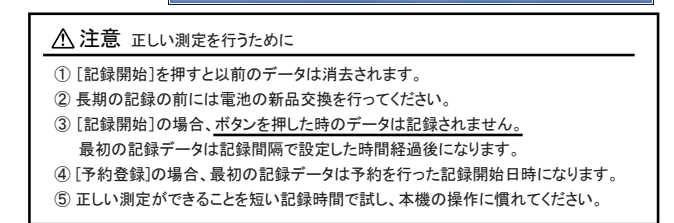
- インターネットに接続し、必要なソフトウェアをダウンロードしてください。ドライバ、ユーティリティソフトは弊社WEB AXELからダウンロードが可能です。こちらをご覧ください→ <https://axel.as-1.co.jp/>【品番 2-7963-03】で検索 商品詳細ページよりアプリケーションソフトをダウンロードしてください。ダウンロードしたデータを解凍してください。(右図) RX-controller
- フォルダ内のCDM***.exeファイルをダブルクリックしてドライバのインストールを開始します。インストール画面が表示されますので、メッセージに従ってドライバをインストールします。
- 本機をパソコンのUSBポートに接続します。Windowsのデバイスマネージャーを開きます。USB(Universal Serial Bus)コントローラの+ををクリックして「USB Serial Converter」のプログラビリティを開き、「Advanced Load VCP」にチェックをいれます。
- ここで一度本機をパソコンから抜き、再度パソコンにつなぐてください。
- デバイスマネージャを開き、ポート(COMとLPT)にUSB Serial Port (COM4)があることを確認し、COM番号をメモしておいてください。(今回は4) これでパソコンに本機が認識されました。※デバイスマネージャの場所はOSで異なります。
- 解凍したフォルダにあるRX-Controllerフォルダ内のsetupアイコンをダブルクリックしてソフトウェアのインストールを行います。
- PC画面の指示に従って「次へ」を押してください。ドライブ、フォルダを選択し、インストールを行います。
- インストールが完了したら本機をUSBに挿し、アプリケーションソフトを起動させてください。

アプリケーションを使った設定

- インストールしたアプリケーションソフトを使って各種設定を行います。本機をパソコンに接続し、デスクトップなどに作ったアイコンをダブルクリックしてアプリケーションソフトを起動してください。アプリケーションソフトがRXを認識すると下図のようになります。
- 各種設定 ボタンを押すとRXの内部時計、認識名称、記録モードの設定ができます。
- 時刻設定 クリックするとパソコンの内部時計を読み取り、RX内部時計の設定を行います。
- 認識名称設定 複数のデータロガーを使う場合、個別にID番号を「半角4文字」まで記入でき、測定場所や使用者名等の認識用としてご利用いただけます。
- 記録モード設定 ワンタイム:記録数が15000になると記録終了。ループ:記録数が15000を超えると古いデータを上書きし記録を継続(最大4ループ)。

ログ(記録開始/予約登録)について

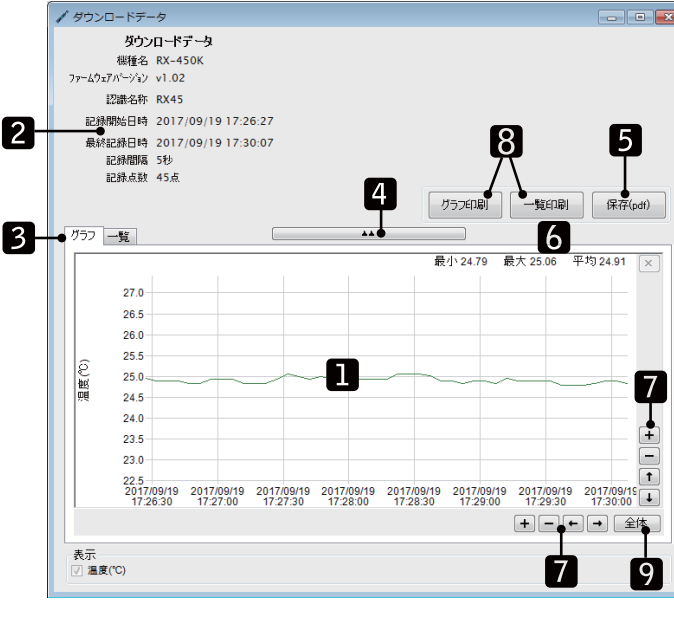
- ログ内の[記録開始/予約登録]ボタンを押すと記録開始画面が開きます。
- 認識名称、記録モード、記録間隔を設定します。開始時間を予約する場合は「記録開始日時を予約する」にチェックを入れ、日時を設定してください。全ての設定が済んだ後、「記録開始」をクリックしてください。



- 記録終了は[記録を停止しダウンロード]ボタンを押します。自動的にデータがダウンロードされます。※予約動作中は「予約登録を取消」表示になっています。
- [ダウンロード]を押してください。進行中の表示が出てデータがパソコンに取り込まれます。

データダウンロード(グラフ表示)

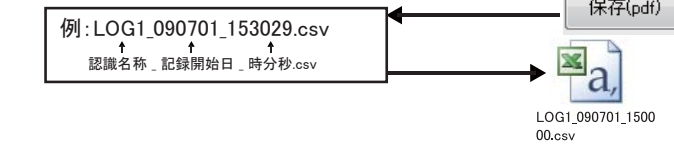
データダウンロードからグラフ表示を行うと下図のようなグラフが作成されます。



- グラフ画面:表示したい部分をカーソルで囲むと部分拡大が可能です。※可能な範囲を超えると選択範囲が赤くなり拡大は行えません。
- 情報画面:データの測定情報表示
- [グラフ/一覧] 画面表示の切替
- [▲▲] 情報画面の表示/非表示を切り替えます。
- [保存] 記録データをCSVファイルとして保存します(データの保存参照)
- [簡易情報] グラフ表示されている範囲の最大値・最小値・平均値を表示。カーソル位置の詳細情報が表示されます。
- [拡大縮小/移動] グラフの拡大縮小/移動が行えます。
- [印刷] グラフの印刷(※プリンタの機種によっては正常にできない場合もあります。)
- [全面表示] グラフを全面表示にします。

データの保存

データはCSV形式で保存し、EXCELなど表計算ソフトでみたり、グラフ化が可能です。(グラフ化については表計算ソフトの取扱説明書を参照ください)
[保存]をクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。ファイル名は初期値では以下になっています。



リアルタイム測定について

- パソコンに接続した状態で現在の温度を常時測定します。
- 自動スクロール (にチェックを入れると最新データが表示されるようグラフがスクロールします。自動スクロール中はグラフの拡大・縮小が行えません。
- 記録したデータは「保存」を押すとCSV形式で任意のフォルダに保存されます。



アズワン株式会社
■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター
TEL 0120-700-875
FAX 0120-700-763
<https://help.as-1.co.jp/q>
■修理・校正についてのお問い合わせは
修理窓口
TEL 0120-788-535
FAX 0120-788-763
repair@so.as-1.co.jp